

= 10月号 =

No. 333



広報 **あぐね**

昭和49年10月10日

編集 阿久根市

発行 市長公室

毎月一回 10日発行 1部10円

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可



(折多保育園)

親と子のひととき

- ……ぬけるような秋晴れに、こがね色の稲穂が美しく映え、柿が色……○
- ……づく季節になりました。10月は読書の秋、収穫の秋などもろも……○
- ……るの秋といわれます。運動会は親と子のひとときでもありま……○
- ……す。踊るなごやかな親子のほほを秋風が快く通りぬけます。……○

第三回定例市議会

企業農場団地さらに推進

陳之尾に野菜予冷库を建設

第三回、定例市議会は九月二十四日から二十七日まで開かれ、同意三件、認定一件、議案十二件など、認定一件を除きそれぞれ可決。

なお一般会計一億二千九百六十五万五千円の補正予算も可決しました。

一 教育委員に川畑隆氏

認定一件は、昭和四十八年度同久根市水道事業の決算についての認定で、建設委員会に付託。

同意三件は、公平委員会の委員久木田重親氏が九月三十日をもって任期満了となったので後任として堀切俊彦氏を選任しました。

また教育委員会の委員も川崎石右エ門氏が九月三十日をもって任期満了となったので、その後任として川畑隆氏を任命しました。

固定資産評価審査委員会の委員榎本正氏も同じく九月三十日で任期満了となりましたので榎本正氏をさらに選任し、議会はそれぞれに同意しました。

議案のおもなものは、字の区域の変更、これは、昭和四十八年度第二次農業構造改善事業によるほ場整備の結果工事後の地形の変更を生じたものです。

これとあらたに生じた土地の確保とその区域の編入について可決されました。

このあらたに生じた土地は黒之浜港の臨港道路および港湾施設用地として、四十九年三月十六日に竣工認可になりました。公有水面の埋立地(黒之浜地区の二千二百二十五・三二平方尺)です。

これによりあらたに生じた土地を本市の区域内に編入しようとするものです。

阿久根市と畜場の使用料と手数料が改正になりました。

改正後の使用料は牛・馬一頭につき七百円、豚・生後一年未満の牛及び馬が一頭につき四百五十円、山羊やめん羊が一頭につき百五十円となりました。

手数料は、牛・馬一頭につき六百円、生後一年未満の牛・馬につき五百円、豚が四百円、山羊・めん羊が三百円となりました。これはと畜場の経費増加によつ

て、使用料及び手数料の額が改定されたものです。

農林水産業費に四千六百二十九万補正

一般会計に一億二千九百六十五万五千円を補正し、総予算額二十八億九千二百二十三万円を可決しそのおもなものは、

●総務費 二百三十三万円

庁舎維持修繕費をはじめ、広域市町村圏振興整備構想研究負担金、国勢調査区地図写真複製委託料がおもなものです。

●民生費 三千四百四十三万円

身障者補給具(車いす、義足等)の交付、老人医療費、老人保護措置の扶助費をはじめ、児童手当金の改正分、児童福祉施設の白あり防除委託料がおもなものです。

●労働費 二百三十九万円

日雇失業保険、健康保険印紙代、労災保険料、就労者の共済補助がおもになっています。

●農林水産業費 四千六百二十九万円



進む圏基団地造成

企業農場団地未貸付地小作料、種転低温予冷库事業、生活改善センター事業、種転集約化等推進対策事業をはじめ、青果用甘し、生産拡大対策事業、さら豆低処理事業、果汁自動分析装置設置負担金や、多田遊緑基幹農道設計、秋松洪水設計、長谷沼池設計の各委託料、農道舗装事業の補助金、園芸団地造成事業(企業農場団地)園芸協業施設事業や農道舗装受託工事請負費、いもしし被害電気救済設置事業費がおもでした。

●商工費 八百五十三万円
大丸通り会街灯増設事業の補助金、九州西海沿岸観光協議会負担金、それに国民宿舎建設謝礼がおもなものでした。

●土木費 一千四百二十二万円
市道維持修繕工事費、がけ地直接危険住宅移転事業をはじめ、常時浸水危険住宅移転事業費がおもでした。

●教育費 五百四万円
各小中学校の漏電配線替、鶴川内中学校の屋体用地擁壁工事費、幼稚園奨励補助がそれぞれ補正されました。

日曜医さん

◇十月十三日

堀切医院②0263 (高松)
田中医院③0553 (大丸)
平 医院⑤0040 (古里)

◇十月二十日

中村病院②0015 (大丸)
山田病院③0420 (本町)
黒木医院⑤0200 (下村)

◇十月二十七日

阿久根内科②0578 (新町)
喜多医院②0038 (大丸)
石原医院③0045 (橋之東)

◇十一月三日

上園医院③1055 (本町)
内山病院③1551 (高松)
浜ノ上医院⑤0013 (陽馬場)

◇十一月四日

北園医院②0016 (本町)
田中医院③0553 (大丸)
平 医院⑤0040 (古里)

◇十一月十日

堀切医院②0263 (高松)
山田病院③0420 (本町)
黒木医院⑤0200 (下村)

◇十一月十七日

中村病院②0015 (大丸)
喜多医院②0038 (大丸)
石原医院③0045 (橋之東)

◇十一月二十三日

阿久根内科②0578 (新町)
内山病院③1551 (高松)
浜之上医院⑤0013 (陽馬場)

◇十一月二十四日

上園医院③1055 (本町)
田中医院③0553 (大丸)
平 医院⑤0040 (古里)

▽ 四十九年度、第二・四半期△
 △の施政についてつぎのように△
 △報告しました………△

前四半期に引き続き事業の遂行に全力を傾けておりますが、この中からおもなものを順をおって具体的に報告します。

一建設関係では一

佐野漁港局部改良工事を一千二百十万円、脇本漁港局部工事を一千二百十万円、それぞれ八月二十二日から工事を進めています。

道路災害復旧工事として、着工しています。国道馬見塚線が六十町、大川島線が七十町、尻無本線冷水場および、月見橋維持修繕工事がそれぞれ八十町の進捗を占めています。

道路災害復旧工事の調代、瀬戸線、一工区・二工区、および大角線が九十町で完工間近になっています。

その他、道路災害復旧工事の国道春畑線ほか七橋、河川災害復旧工事の平田川ほか五カ所が完成しました。

明許線越で施工を急いでいます。大丸排水路も、ガス本管、水道本管の布設替との調整を図りながら八十町の進捗を占めています。

一土地改良関係では一

四十七災害、四十八災害を含む水路災害復旧工事の第一牛之浜地区ほか十五カ所が完成し、現在工事中は、古里、中宇都地区が八十町、田代越地地区、九十町、市原

独事業、柳地区治山防災工事が九十五町で完工近くなっています。

第二次農業構造改善事業の一環として松元工区の園芸団地造成事業が生産農家五人により、野菜ハウスの工事に着手しており、昭和四十九年度分として、一万六千九百六十六平方尺のハウス団地になりました。

なお尾崎農地造成改良事業においては、生産農家十四人により、原野、山林、休耕地を造成改良し十二・三分の文旦団地として、生れ変わりします。

なお県単独土地改良事業の、弓木野、宮ノ前農道新設工事も二十

国民宿舎オーブン後三か月

二万三千三百五人の利用者

第二・四半期の施政報告から

町の進捗をよくみています。

広域林道として、その完結が期待されます。常陸大幹線も、昭和四十九年度分、二千五百尺のうち、四十町の進捗を占めています。

そのほかに、県営事業の多田地区過疎基幹農道事業および飛松地区洪水防除事業、尻無地区過疎基幹農道舗装事業が五十年年度着工を目途に調査が進められています。

一保健衛生関係では一

と斎場終末処理施設が七月十日完成し、公害防止に万全の体制が整いました。

一農政関係では一

稲作転換対策事業を推進するた

め、国庫補助費千万円をうけ、実施面積、百一拾のうち普通転作二十八町、永年転作七十二町の調査を完了しました。調査調査力化推進事業の一環として建設されました、鉄骨造り飼育室四棟、木造飼育室二棟が完成になり、養蚕団地としての性能が一段と強化されました。

温暖地帯の特性を生かした、グリーンビースを始め、苜、きゅうり、メロンなどの昭和四十八年八月から昭和四十九年七月までの、輸送野菜出荷実績は、好天候に支えられ、豊、金額とも、五年にない飛躍をとげ、農協共販体制と相ま

つて、六億六千五百万円の好成绩を挙げることができました。

一商工水産関係では一

海開きを前に実施しました。眼光宣伝キャラバン隊の実績の表れとして夏季観光利用者調べでは、阿久根大島への渡航者七万三千四百人で前年対比五・七割の伸び、脇本海水浴場七万五千人で十二町の伸び、大川島海水浴場が三万人で三十町と伸びて、全体では十七万四千人で前年対比十二割と伸びました。

水産部門では、今年も漁場造成事業を推進するため、並型漁船のコンタリートプロジェクト、三百三十五艘の投入を計画しています。

一水道課では一

水産事業の総合整備計画のもとに、水源の位置決定のため、電探調査の契約も済みました。

大丸排水路工事の配水管布設工事は六十町の進捗を占めています。水量不足を訴えられていました牧内地区の本管布設工事は七十

五の計のパイプを七百三十七尺施工するもので七十町の進捗を占めています。

春畑団地への布設工事は七月完成いたしました。間易水道事業では、牛ノ浜、馬見塚、伊を含む千四百五十人を対象に、牛之浜間易水

一福祉事務所関係では一

重慶心身障害者の福祉増進のため、ねたきり老人百十一人の方に対し、四年以下の五十六人に四千万、五年以上の五十五人に五千万の福祉手当を支給しました。なお敬老の日に、長寿を祝福し敬老の気もちを表すために次のようなお祝いをおくりました。

八十歳以上八十四歳までの四百二十九人に記念品を、八十五歳以上の方、百九十五人に敬老年金をそれぞれ贈りました。

なお、九十歳にいられた十二人の方々に記念の写真を贈りました。

国民宿舎

「あくな」では

この事業を一億六千七百三十万円で、昭和四十九年、五十年の二か年継続事業として、国庫補助市長による施政報告



職員の規律と、お客様へのサービスの向上に努力して、六月の利用者五千七百人に対し、七月、八千二百三十六人、八月は九千三百六十九人と好調な利用者数になっています。

なおデラックスな施設と、環境の良さがプラスして、結婚式の申し込みも多く、現在まで十五組、十一月までの申し込み約三十組を占めています。

一教育委員会では一

鶴川内中学校校運動場外構工事は二件が完成しました。四十九年度学校整備計画として、鶴川内中学校校運動場新築工事も九月三日着工しました。

二連棟の大型ハウス

山波地区に園芸団地

山波地区で第二次農業構造改善事業のうち園芸団地造成事業が進められています。

これは山波地区の野菜振興を図り新しい技術を導入し、企業農業団地を造成して、生産性の高い自立経営農家を育成するのがねらいです。

現在ハウス面積四千四百平方メートルができていますが、全部完成しますと三万二千平方メートル六十棟になります。

この団地は山波園芸組合(農家数五)が事業主体になり、大型二連棟のハウスになっています。

連棟ハウスで栽培しますと、温度の変化が少なく変型果実にならず青果用に適しています。

現在できてきている七棟にイチゴをイチゴが植えられたハウス



栽培し今年度中に完成します。二棟にプリンスメロンが植えられます。

後しばらくしますと、安くて果価の高い果物が供給されるようになります。

新しい施設には補助金

簡単になったタバコ栽培

いま何久根市では三十六人のタバコ耕作農家が、約二十七畝栽培しています。

市農政課、専売公社、タバコ耕作組合では、タバコ耕作者を増やす運動をはじめています。

▽タバコ作りも楽になりました
タバコ作りは手間がかかるものという観念はもう古いものになりました。

現在、共同育苗や収穫乾燥法の改善で夫婦一む以上作る人も増えています。

今年から五等級になり、選別の手間もいふけます。

▽はじめての人も
安心して作れます。

タバコの作り方や手続きも簡単になり、はじめての方には公社、タバコ耕作組合の技術員が手をとって指導します。

▽市場価格の不安がありません。
タバコは全部専売公社で買います

米や麦の主な栄養素は糖質で、(九)と匹敵し、量は少ないが質がカロリー源として摂取しているがよいので米の一粒(七合)も食べれば一日のタンパク質はこと足りる。

米のタンパク質は六から七割
小麦粉は八から
十二割と小麦粉の方が多く、買らなくてもすみますがタンパク質の質は米の方がよく、米のタンパク質が悪いためあまり効果はあがりません。

米は牛乳(七十四)や牛肉(七十) (何久根市農業改良普及所より)

米と麦

小麦粉の場合には量的には六百ぼくは米の方がよく、米のタンパク質が悪いためあまり効果はあがりません。

の設備をするのに有利な補助金制度(タバコ生産団地育成対策事業)もあります。

▽災害には掛金なしの補償金。タバコ作りには有利な制度があり災害のときには、掛金なしの補償金があり、七月には前渡金、出荷のときには運搬費もです。

病気に強い新品種「みずほ」

市内五か所に展示は

水稻の奨励品種に「みずほ」が新しく採用されました。

「みずほ」の穂の成熟期は、従来ののがね錦の十月上旬に較べ十月下旬とやや晩性型になります。

しかし、病気に強く、特に葉いもち、穂いもち、並びに紋枯れや白葉枯れに強いのが特徴です。

品質もよく粒は中ぐちの大きさにあります。

一斗当りの玄米量はのがね錦の四十粒に対し六十粒と収量も多くあります。

またのがね錦が長粒(九十粒)

おめでた

(九月分)

- (出生児) (保護者) (部落)
- 西平 孝行 善吉 (内田)
- 田中方紀子 生作 (遠矢)
- 江口 敬太 伸一 (的場)
- 猿楽さおり 悟 (大尾)
- 藤園 幸吾 与一 (大川島)
- 津門 剛 良典 (尻無下)
- 竹下 真理 直三 (大丸)
- 山崎 文賀 徹 (寺山)
- 田澤 一真 正美 (倉津)
- 尾崎 真弓 哲志 (尾段)
- 谷口 理恵 克男 (尾崎)
- 佐藤さくら 福海 (上野)
- 新村 恭子 定盛 (水田上)
- 佐土原聡子 盛 (寺山)
- 入尾野光明 光義 (裕)
- 田原久美子 富士夫 (米次)
- 根比 信一 繁夫 (陣之尾)
- 鳥里 信二 是久 (本町)
- 松崎 美恵 恵 (上原)
- 酒浦 栄喜 喜久夫 (黒之浜)
- 石崎 佳代 肇 (橋之東)
- 松本 美喜 喜久夫 (橋本浜)
- 新野 洋輔 勝三 (大尾)
- 佐々木良二 豊 (大丸)
- 中村 昭男 友喜 (尾崎)
- 飛騨 謙美 博司 (新町)
- 岩松 聡子 洋 (大丸)
- 跡上 千波 満里男 (黒の浜)
- 上 文 益朗 (陽馬場)

九電だより

洗たく機は風呂場など湿気の多いところには置かないようにしましょう。やむをえず風呂場におくときは、漏電しゃ断器とアースを必ずつけてください。

消費生活シリーズ ④

「まみむめも」買いをやめよう

まとは、広告や景品につられていらぬものまで買ってしまふまどおされ買い
みは、儲け買ったから、うちもというみえ買い
むは、たいていいいもしないのに、つい衝動的に買ってしまふむだ買い
めは、デザインがきれいだから名の通ったメーカー品だからと、性能や表示はそこのけで買うめくら買い
もは、家計のやりくりも考えずむやみにツケや月賦で買い込み後で苦勞するもんない買い

日本に住む外国人主婦は、日本の主婦は「買い物下手」と指摘します。その理由は「衝動買いが多く計画的でない」「群集心理にまどおされ過る」「値切らない」からといひます。私達消費者はいまこそ消費者意識を高めなければなりません。

また九十歳の仁徳新左衛門さんに記念品を渡し長寿を祝福されました。
 この後聖園老人ホームを訪問され、それから、阿久根では初めて

私もあやかりたい

金丸知事、敬老慰問

九月十五日「敬老の日」に金丸知事夫妻が特別老人ホーム「桜ヶ丘荘」を慰問し、知事が一日園長、夫人が療母をつとめられました。
 特別老人ホームの概要を聞かれた後、さっそく園棟を見舞いされ一人一人の手をにぎり「早く元氣になってください」と声をかけられ老人を励まされまし

百歳になられた中村新助さん(機手)を訪問され、総理大臣からの記念品、銀杯と賞状、県から記念品(薩摩焼の花びん)を渡され、市長から布団一式が贈られました。知事は中村さんと共に食事をされながら長寿の秘訣を聞かれ、中村さんの長寿にあやかりたいと杯を交わされました。
 その後機手部落の敬老会に出席され老人達の長寿を祝福されました。



知事と杯を交わす中村さん

雨が降っても、もう安心

鶴川内中学校に体育館を新築

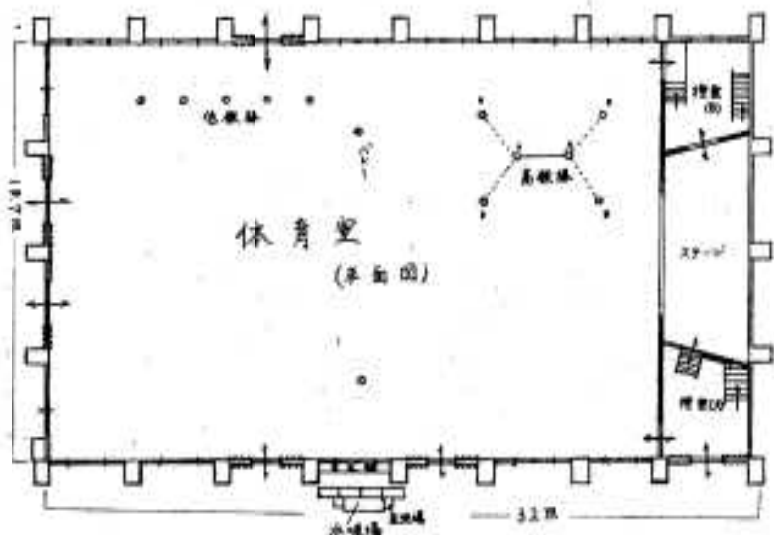
鶴川内中学校の体育館が新築されることになりました。
 鶴川内中学校は百三十八人の生徒がいますが、体育の時間に雨など天気の悪い日は教室で保健体育に切り替たり、机を廊下に出して

室内競技を行わなければならず充分運動ができませんでした。

新築される体育館は鉄筋コンクリート造りで床面積五百九十八・四平方(縦三十二・四、横十八・七)あります。

内部施設はバレーコート、高鉄棒、低鉄棒、ステージ控室二からなっています。

工期の五十年二月十五日までは完成の予定です。



教育相談所を開設

聖児島県教育委員会ではつきのように相談所を開設します。
 ●月日 十月三十一日十時より
 ●場所 市民会館
 ●内容 教育相談 肢体不自由、病後弱、どもり、学校ごらい精神薄弱等の障害を持つ幼児、小中学校児童生徒とその保護者。相談を希望される方は市教育委員会学校教育課まで③1211

くらしのシオリ

秋の日は釣瓶(つるべ)落としといいますが、お彼岸を過ぎたころから、急に日が短くなります。天気の良い日中は、まだ気温も高く、空気が乾燥して、これが日本の秋を代表する最高の季節だ、という感じがしますが夜になると急に冷え込み、そろそろ冬が近づいたことを思わせます。
 ●衣 日ざかりには、まだ日ガサが必要なのですが、夕方になると冷えて、お子さんには長そでのカーディガンを一枚用意して出るとか気温は調節できませんが衣料の調節はお母さんの役目です。
 寝間着も、寝るときはそれほど冷気を感じなくても、支けはややくるくるの冷えこみを防ぐために、せめてやうましよう

引き出せる庫内のタナは外に取り出し洗剤ぶきし、遊性石けん液で全体をふいたあと水ぶきし、最後に乾いた布で水気を取って元元のようにします。
 ●健康 限の健康管理で大切なことは清潔にすることはもちろんですが、直接さわる手やハンカチはいつもきれいにし、過勞を避け、直射光を見ないこと、弱い光の下で細かいものを見たり、揺れる光の下で長時間見ないことです。

優勝の瞬間監督を肩上げ

去る9月15日、総合グラウンド、阿久根高校、阿久根農高の各グラウンドで部落対抗ソフトボール大会があり、参加チーム32で熱戦を戦いました。

その結果、優勝大丸A、2位本町、3位新町、浜町の各チームとなり、大丸Aチームの優勝が決まると監督を肩上げし優勝を喜びあいました。



奉納される鬼神舞

九月十七日四日の稲牟礼神社の例祭があり、出水郡の神主さん八人が鬼神舞などの十の舞いを奉納しました。稲牟礼神社には「稲倉玉の神」という農耕の神を祭っており五穀豊饒を祈願して年三回祭られます。

今度の神舞いは阿久根では初めての奉納で参拝人も珍しい舞いが見られたと喜んでいました。



市街地区は合同敬老会

九月十五日、市街地区の敬老会が合同で阿久根小学校の体育で行われました。この地区には七十歳以上のかたが六百三十人おられます。校区の婦人会が主体になって行い、当日は婦人会の踊りなど老人達の長寿を祝福しました。また市長、県知事も出席し、いつまでも長生きしてくださいと、励まされました。



9月25日、出水北陸ブロックPTA母親リーダー研修会が市民会館で行われました。

出水市・阿久根市・卓木野市・川内市の4市と出水郡・薩摩郡の2郡からそれぞれPTAのかたがたおおよそ500人が出席され、各分科会に分かれ、PTAの家庭教育における学習の進めかた等について討議されました。

出水北陸ブロック PTA母親リーダー研修会

10月は簡易保険推進月間
簡易保険は、大正五年十月、国営保険として誕生以来、私達の地方公共団体、公社公庫など国の機関に貸し出されてきました。
住宅、学校、道路など日常身近かな生活環境整備に使われます。
また昭和四十八年六月二日から昭和四十九年六月一日までの間に米寿(八十八歳)を迎えられたかたがたに簡易保険局から郵政大臣名の記念品を贈ることになっています。簡易保険事業を充分理解しましょう。

中小企業者に対する

季節資金が変更

季節資金保証を広く中小企業者の方々にご利用していただき、工業の発展に役立つための季節資金が変更になりました。

従来季節資金につきましては、夏期、年末、春期とし、それぞれ取扱い期間を定めてありましたが受付期間の延長、分割返済の採用などが改正になり、一層活用しやすい制度になりました。

- おもな改正点は次のとおりです
- 保証限度 個人法人三百万円以内、組合、六百万円以内
- 保証期間 十二か月以内
- 返済方法 保証期間が六か月以内については一括または分割返済六か月を二すものについては均等分割返済
- 資金使途 運転資金
- 取扱期間 常時取扱

●申込先 商工会議所 1185

正月松の内に成人式

新生活運動三部会で協議

九月五日、市民会館で新生活運動、並びにあすの何久根をつくる市民運動推進協議会が行われまし

「どうぞ」等の一口あいさつをいえるようにしましょう
 △明るい進歩の推進進歩反者を出さないようにしましょう
 △成人式について
 正月の候の内に、郷土の成人式に多くの人が参加できるようにし、成人式の服装は華美にならないように。
 二、心身をたくましくする運動
 △歩け歩け運動を推進する
 十月十日市民歩こう会を実施
 △ラジオ体操の推進
 家族全員で体操するように
 △成人病検査の受診徹底
 年に一回は必ず検診を受けるようにしましょう。
 三、郷土を美しくする運動

成人式



ふやして獲る狩猟を

11月1日から狩猟解禁

狩猟が十一月一日から解禁になります。

これからの狩猟は、最近の自然保護の時代的要請から、ただ自然にふえたものを獲るということでなくして「ふやして獲る狩猟」を行わなければならない。

また、鳥獣管理は鳥獣の生態状況に応じて、鳥獣ごとに狩猟期間や一日の捕獲数をきめてあります。

狩猟者が自覚して、法令等を守らなければ狩猟資源を維持していくことができません。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会へ寄金の寄付がありました。ありがとうございます(敬称略)

- 中野 武美 (的場) 二万五千元
- 森園 秀三 (栄町) 四万円
- 松下 フタ (尻無上) 五万円
- 八郷 正人 (脇馬場) 四万円
- 瀬戸 栄一 (下村) 三万円
- 堀切 重一 (永田下) 三万円
- 西園寺 四和 (高之口) 六万円

おくやみ

(八月分)

- 田代 サノ 85 (田代下) 為義
- 本田 勝南 80 (新町)
- 川崎 茂 71 (尾崎) ユキノ
- 田代 義治 69 (田代中) ツルエ
- 大尾 シメ 65 (大尾) 国男
- 倉津 オノエ 75 (上野) マツノ
- 花木 助次郎 80 (川畑中) スツノ
- 久保 忠行 35 (段) 栗里
- 藤原 長右衛門 82 (佐高) セキ
- 岸田 エダ 79 (上野) 隆子
- 花田 健一 23 (上野) 清義
- 轟 久次郎 61 (大尾) タキノ
- 花木 榮記 80 (的場) 国雄
- 馬見 新清藏 81 (馬見塚) 丹
- 竹原 學 27 (八郷) ヨネ子
- 桃山 庄右衛門 77 (黒之上) 峻
- 小田 七兵衛 94 (筒田) 十兵衛



剣道



市内剣道大会

●名称 阿久根市剣道会
 ●会長 新坂邦
 ●会員数 150人

阿久根市剣道会は、スポーツ団体としては最も古い伝統をもっているものの一つであります。

現在行われています、阿久根、牛深、全長島三地区親善スポーツ大会は、他に類を見ない盛大なものに発展していますが、この大会は、阿久根剣道会と牛深剣道会との親善剣道大会が始まりです。

剣道をとおして、会員の親睦を図り専ら人間関係を豊にし、会の結束を固めています。また各種大会に出場し優勝経験を重めています。46年度には県下市郡対抗剣道大会に優勝し、県下市役所剣道大会では47年、48年と連続優勝しています。

今年の第28回県民体育大会では出水地区代表として出場し、良く善戦しましたが優勝チーム曾々に敗れ準決勝進出にとどまりました。今後も更に技術の向上と青少年の剣道育成指導に努力したいと思います。

日中友好に一役

訪中の尾崎さん体験談



尾崎信行さん

九月五日早朝
私道は「日中友好」という重大な使命を果たすべく、中国大陸への第一歩を期待と不安のうちに踏み出しました。

各訪問地に於いて、今まで私達が日本では見たことのない熱烈歓迎に一時とまどい、感動というより自分を忘れるくらいの興奮を全身に感じ、言葉で表現できないくらいに体験であった。

政治体制の違う中国友人の出迎えに對して、自分の尺度や価値感では判断のできないくらい未知の世界の様相にただ茫然とするばかりでした。現在の日本の生活水準からすると低い、町、公園で

青年の船

はチリひとつ、ハエ一匹見つけることができなかった。

彼等は、解放前の苦しみをしずえとし、解放後の教訓として生かし、新しい社会主義とは何か、価値感とは何かを作り出そうと一生懸命努力しています。

生活の豊かさはないが、心の豊かさを持ち、「自主独立・自力更生」の道を断呼として歩み、社会主義国家の建設に貢献している。

この訪中期間の中で多くのことを学びました。

国を愛し、人を愛しお互に国家の建設という目的に向かって前進する教育、少年少女の目の輝きのすばらしかったことなど、中国の人々は暖い心で接待してくれ「日中永遠友好」を望んでいます。

しかし私達がここで忘れてならないことは、戦争のひずみが残っていると言ふことを、帰国の際一緒に同行しましたが、少ない果で七〇名、多い果で二〇〇名程度の日本人が残っています。

この人達が一日も早く祖国日本へ帰ることができまますよう今後も日中友好を進めて行きたいものです



待望の阿久根市誌近く発刊

希望者は市立図書館へ

市制二十周年記念事業の一つとして、発刊されることになっていました寂寥の、郷土誌「阿久根市誌」がいよいよ近づく発刊されることになりました。

この阿久根市誌は、満三か年の歳月と七百万円の巨費を投じて、編さんされたもので、A五版、一千ページ、字頁三百枚、字数にして七十万字に及ぶぼう大なものです。

内容は、先史、古代から現代までの市史と、文化、芸術、民俗などで、また戦災、復興の記録も詳しく記録されています。

実際に頒布できるのは、来年早々と思いますが、希望者は市立図書館まで申し込んでください。

価格は一部六千円ぐらいかかっています二千円でおわかちすることになっています。

市立図書館 ②0607

青色申告の特典

毎日の取引を帳簿につけ、その帳簿にもとづいて所得税の申告をする、これが青色申告です。

「税金の面ばかりでなく、経営の合理化にも役立つ」ということで、青色申告を利用する方は年々増えています。

そこで青色申告についてちょっと説明します。

まず青色申告には四十四もの特典があります。

例えば、「青色申告控除」、これは、青色申告をしている人ならだれでも十万円までを所得金額から特別に控除できます。

そのほか家族に支払った給与を必要経費としておとせる「青色専従者給与」、貸倒れによる損失に備えての「貸倒引当金」など、青色申告にはいろいろの特典があります。

新しく青色申告を始めようと思われ方は、税務署や商工会議所等で青色申告の説明を行っています。

税務所 出水 ②0200
商工会議所 ②1185

県民手帳受付中

昭和五十年版県民手帳を受付中です。大版三百八十円、小版百八十円。市役所統計調査係まで。

読書週間

本との出会い豊かな心

10月27日～11月9日

1974年度の読書週刊がこの10月27日から11月9日まで行われます。

今年度のテーマは「本との出会い豊かな心」

良い本を、多く読むことは、良い友達をたくさん持つのと全く同じだといわれています。壮快な読書の秋、良い本との本当の出会いを楽しみたいものです。

新刊書

(九月分)

白い巨塔、宇宙と人間、七つのなぞ、ベストフレンド、やわらかな心、わがルパン島の30年戦争、童話のつくり方、個性の見つけ方、花つくり、おとうさん、誰でもできる、名スピッチ実例集、闘(とう)、大放浪、船路の跡、人間にくすはない、三つどもえの教育、鹿児島方言辞典、女。